

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1070-3	(H.25)No.	1070-3
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	医療体制推進費(医療体制推進寄附講座開設寄附金関係)		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	福祉施策連携担当/地域医療室	岩名 静枝/山本有志	

会計区分	事業コード	250531
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	医療体制推進寄附講座開設事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
それぞれの研究を通じて質の高い医療を提供するとともに、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。
事業内容
地域医療再生基金を活用し、関係大学に対して寄附講座を設置し、専門性の高い医療の研究を進めるとともに、名張市立病院への医師派遣により、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。 平成22~25年度まで事業費の1/2は地域医療再生基金より補助がある。(但し三重大学分は全額補助)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	総事業費 78,500千円 1.寄附講座設置事業 関西医科大学他 63,500千円 2.委託事業 奈良県立医科大学他 15,000千円	総事業費 58,500千円 1.寄附講座設置事業:関西医科大学他 51,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学他 7,000千円

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
総事業費 48,500千円 1.寄附講座設置事業:関西医科大学他 41,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学他 7,000千円	総事業費 48,500千円 1.寄附講座設置事業:関西医科大学他 41,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学他 7,000千円	総事業費 48,500千円 1.寄附講座設置事業:関西医科大学他 41,500千円 2.委託事業:奈良県立医科大学他 7,000千円

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	78,500千円	58,500千円	48,500千円	48,500千円	48,500千円
内 国・県支出金	41,500	15,000	15,000		
内 地方債					
内 その他()					
内 一般財源	(0) 37,000	43,500	33,500	48,500	48,500
人工数	職員 0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等				
②概算人件費	(0千円) 760千円	760千円	760千円	760千円	760千円
①+②総事業費	(0千円) 79,260千円	59,260千円	49,260千円	49,260千円	49,260千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題) 地域医療再生基金による寄附講座により、名張市立病院の医師数は徐々に増加し、26年1月には、小児救急医療センターを設置し、24時間365日小児二次救急医療を実施している。引き続き寄附講座を継続する必要があるが、26年度から補助金が大幅に減額されたため、財源確保が課題である。	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) 寄附講座により、名張市立病院の医師数が徐々に増加し、伊賀地域の二次救急医療体制の危機が若干緩和されたが、まだ十分な数ではないため、引き続き寄附講座により、関係大学からの医師確保を図りたい。
--	--

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	寄附講座による市立病院への医師派遣により、伊賀地域の二次救急医療体制の構築につながった。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域住民が安心・安全に生活できるまちづくりを基本施策に掲げている地域が多く、寄附講座により医師が増えることにより、医療体制の充実に繋がる。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
市立病院への医師派遣は派遣元大学への寄附講座設置によるものが大きいため、伊賀地域の二次救急医療体制を維持するためにも継続する必要がある。	